

動物たちの幸せを
科学を基に考える



アニマルウェルフェア
国際協会

主催/アニマルウェルフェア国際協会

Animal Welfare International Organization

2025

あなたは どう考える？

Animal welfare



伝統文化の
維持と
動物虐待



殺処分
駆除
安楽死



食用動物の
命と
小犬の命



動物は
褒めて育てる
だけで
いいのか？

科学的アプローチによる動物との関わり方と知識。
さらにワンランク上のスキルを身につけませんか

人以外の動物を尊重するためには、さまざまな課題に直面します。例えば、動物との関係を築くための訓練方法は、報酬だけに頼るだけでは効果的ではないのでしょうか。

また、動物を私たちの目的のために利用すること、例えば食用や伝統文化としての利用はどのように考えるべきでしょうか。

さらに最近では、野生動物が人間の生活圏に入り込む事例が増えています。多くの場合、駆除されてしまいますが、それが唯一妥当な対応なのでしょうか。

「動物福祉(アニマルウェルフェア)」とは、科学的な根拠に基づく動物との関わり方の考え方です。動物行動学や心理学の研究に基づき、動物が過度なストレスを感じない環境を提供し、彼らの自然な行動を尊重することが基本です。

これらの知見を活用することで、私たちは日常生活の中で動物とより良い関係を築き、お互いの福祉を高めることができます。

動物の命と心を大切にするための知識とスキル「動物福祉(アニマルウェルフェア)」を学んでみませんか。

アニマルウェルフェアを学ぶメリット



- ①動物との関わり方の歴史や文化の違いを理解できるようになります。
- ②エビデンスにもとづき動物の福祉について考えることができるようになります。
- ③動物に関わる上で生じる問題を複眼的に捉え、解決法を考えることができるようになります。
- ④エビデンスを知り、技能を取得することにより、説得力を持って動物とどのように関わるかを伝えることができるようになります。
- ⑤学びの証を手にすることができます。



10月新コース開講！

知っておきたい！国際基準の最新動物福祉学

※ コース日程、受講料の詳細は裏面をご参照ください。

講師 **上野吉一** アニマルウェルフェア国際協会 会長

岩手県生まれ。北海道大学農学部卒。北海道大学大学院文学研究科修了。京都大学より学位「博士(理学)」を取得。1994年から北海道大学実験生物センター助手となり、2000年より京都大学霊長類研究所附属人類進化モデル研究センター助教授(准教授)、2007年より東山動植物園企画官。退職後、中部大学中部高等学術研究所特任講師に就任。応用動物行動学会で副会長や新竹市(台湾)の市立公園(動物園)改修の顧問など歴任。<専門領域>動物福祉学、動物園学、比較認知行動学